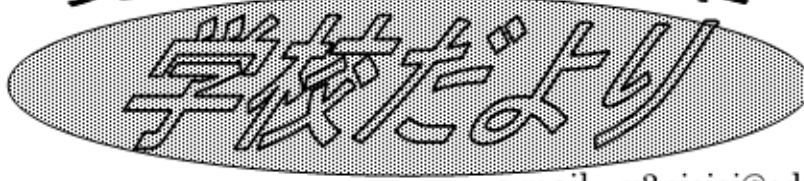
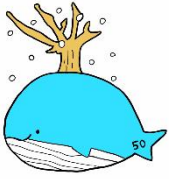


2月号

光あふれる西柴



令和6年1月31日  
横浜市立西柴小学校  
横浜市金沢区西柴 4-23-1  
Tel. 045-783-1182  
校長 柴原 美樹子

e-mail y3nisisi@edu.city.yokohama.jp

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishishiba>

## すてきいっぱい西柴小

副校長 永島 典子

梅のつぼみもふくらみ陽だまりに春を感じる季節となりました。校庭では、子どもたちが元気に遊んでいます。また、校内書写展を鑑賞し、作品のすばらしさに感動している子どもたちも多くいます。子どもたちが友だちと楽しそうに遊んでいたり学び合ったりしている姿は、とても微笑ましく、周囲に力を与えてくれます。

ある日の朝、ろうかに貼られた作品を見つめている児童を見かけました。その目線の先には、画鋏がとれかけている作品。「あ…」と手を伸ばそうとすると、すぐにその子が小さな指で画鋏を留め直しました。とれかけ傾いていた作品はまっすぐしっかり留められ、他の作品とともに整然と並びました。「作品を留め直した」ちょっとしたことですが、その場に出会えた私は、とてもうれしくなりました。とれかけた作品に我関せず、誰も気に留めないままであったら、落ちた画鋏で誰かがけがをするかもしれません。作品もどんどんいたむでしょう。環境も人の心もなんだか荒んでいくように思えます。この子が気付き行動したことはごく普通であっても意味のあるうれしいことです。もちろん「画鋏がとれていました。はがれています。」と、大人に伝えることもすてきなことです。この子はさらに直すところまで自分でできると判断し実践しました。だからこそ、誰にも気付かれぬ、褒められることのないものだったかもしれません。より多くの人が正しいことを、すべきことを、誰かのためになることを、普通に自然に当たり前に行えたら、みんなが気持ちよく生活することができます。きっと気付かないところで、出会えないところで、同様のことはたくさん行われているのだらうと思います。誰に褒められるわけでもなく、当たり前のことを当たり前として行動している子がいます。それは小さなことかもしれません。取り立てて称賛することではないかもしれませんが、「善いことはよい」「正しいことは正しい」その行為が、行動しようとする気持ちが、尊いということを伝えていきたいと思えます。静まりかえった教室をそっと覗いてみると、子どもたちは真剣に学習に取り組んでいます。どの子も黙々と鉛筆を走らせています。教師の支援を求める声も周囲の集中を妨げない大きさです。その後、全体で学びの共有を図る場面では、進んで挙手し発言する姿が見られます。また、最後まで話に耳を傾けてから、気づきを伝えようとしています。規律と笑顔、メリハリをもって授業に臨み、みんなで居心地の良いクラスを作っています。満面の笑顔で気持ちのよい挨拶を欠かさない子もいます。このように、西柴小の子どもたちは、「光あふれる西柴～ふれ合い まなび合いともに輝く子～」を目標にがんばっています。

二月を迎え、今年度の終わりが近づいてきました。「善いことはよい」「正しいことは正しい」を実践し伸びていく子の姿には、清々しい気持ちが広がります。逃げる二月、あっという間に過ぎ去る日々を逃がさぬように、今年度のまとめと次年度の準備を進めてまいります。